紙人

SOCIAL PAPER KUMIBITO

福井が好きだから「伝えたい・残したい」、福井の宝もの。

【特集】

輪を広げ、和を結ぶ。

ここ大安寺地域に暮す人々は、
子どもの頃から
地域コミュニティと関わり
高い自治意識を持ち、
人と人が助け合う「結」の心が
しっかりと受け継がれていく。

No.10
2014

地域で生きていくことが大事なんだ。
みんなでこの土地を守っていかなあかん！

寺と共に生きる、地域と共に生きる。

忘れかけている日本の良さがここには残っている。
昔も今も変わらない心の風景があります。
互いの気持ちに寄り添いながら、〝共に生き・共に育ち合う〟
地域共同体の関係が今も強く受け継がれている大安寺地域。
地域の中心地としてのお寺「大安禅寺」の役割は、
人が集い・笑顔になって生きる希望を見いだす場でもあります。
ひっそりとした神秘的な空間は、不思議な魅力をたたえ、
知的好奇心をくすぐる神話や、日本が誇る
歴史遺産が静かに眠っています。
夕暮れ時のお寺の鐘の音が静かに鳴り響くと、
地域の人々は感謝の念を持って、
手を合わせることを忘れません。

目を閉じて、深呼吸して。
ここに立つと心なしか
空気の澄み方が違う。
通り抜ける風は足元から
浄化されていくような
神秘さを感じさせてくれる。

お寺と地域をつなぐ、神様という宝もの。

福井市の西部に位置する人口千四百人の
小さな集落大安寺地域の宝ものは
国の重要文化財「大安禅寺」と、
その周辺に眠る「神様」という資源。
信仰の歴史とともに千二百年の祈り、
神が宿る神秘的な集落 大安寺。
集落には、代々の先祖が営々と育んできた
歴史と文化が日常の生活と共存しています。
「お寺と共に生きる」お寺を中心に集う地域には、
共生の精神が息づいている。

萬松山 大安禅寺 の歴史

今から一二三〇有余年ほど前、「田谷寺」という越前庶民の信仰を厚く得たお寺がありました。しかし、織田信長の越前攻めによって、戦火に遭い、寺は消失。その霊地に、万治二年（一六五九年）第四代福井藩主・松平光通公が、自分の師としても深く帰依していた大愚宗築禅師（だいぐそうちくぜんじ）を迎え、松平家永代菩提所として建立したのが、大安禅寺です。
平成二〇年六月には本堂をはじめとする伽藍一体が国の重要文化財に指定されました。

人 という資源

1. 地域活性化の取り組み

大安禅寺 副住職・新命和尚

寺とともに生き、感謝の心を伝える。
祈りの里づくり、それが私のすべきこと。

新命和尚と地域のふれあい (8月お盆過ぎの行事)

信仰の歴史を子どもたちにより身近に感じてもらおうと、町内に祀られている「穴地蔵」を通じて毎年地蔵盆を行っている。子どもたちには、“あなんどさん”と親しまれている。

揚 という資源

2. 地域活性化の取り組み

地域の宝でもある、国の重要文化財指定「大安禅寺」の地域産業活性化活動をはじめ、自然、歴史、文化を地域の共有資源と考え、文化遺産の保護、保守、清掃活動を行い寺と共に魅力ある地域づくりに取り組んでいる。

エコキャンドル (6月中旬の行事)

花菖蒲祭に併せて大安寺地域住民が総出で取り組む催し、共生と地域団結を深める源でもある。

物 という資源

3. 地域活性化の取り組み

地域住民の「心の交流」から「創意工夫」が生まれる、をテーマに、地域に特化したモノづくりに取り組んでいる。

手づくり門松ストリート

11月中旬に飾り付ける大安禅寺の大門松にあわせて、地域住民が門松を作り各家庭に飾ります。

ご縁結び苔玉

大安禅寺は健康と縁結びのご利益があることから始まった苔玉づくり。
大安禅寺の裏山「大慈峰山」で採取した苔を使い、良いご縁が結べますようにと願いを込め、一つ一つ手づくりで仕上げています。

大安寺観光協会事務局☎(0776)59-1014

取　材……宮本隆行
撮　影……高橋正勝
Art Director…三嶋良晴
写真提供……大安禅寺(協力:日刊県民福井)
発 行 元……DAIICHI PRINTING CO.,LTD.
企画制作・編集…コミュニティサポート5〇プロジェクト

【お問合せ】
〒910-2142 福井県福井市前波町17-6-1
TEL.(0776)41-3741　FAX.(0776)41-2442